

第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会会則第14条第1号の規定により、令和5年度収支決算等について承認を願います。

議案第2号

令和5年度収支決算等について

○令和5年度収支決算

【収入】

(単位：円)

項目	予算額(a)	補正額(b)	総予算額 (a+b)=(c)	決算額(d)	差額(c-d)	主な内容
負担金	1,148,244,811	0	1,148,244,811	1,133,085,620	15,159,191	仙台市からの負担金
前年度繰越金	26,358,986	0	26,358,986	26,358,986	0	令和4年度収支決算の残金
その他収入	63,972,000	0	63,972,000	67,936,608	▲ 3,964,608	自治体出展参加費、営業参加出店料、協賛金、イベント参加料、その他
合計	1,238,575,797	0	1,238,575,797	1,227,381,214	11,194,583	

【支出】

(単位：円)

項目	細目	予算額(a)	補正額(b)	総予算額 (a+b)=(c)	決算額(d)	差額(c-d)	主な内容
総務費	総務費	8,390,581	0	8,390,581	4,922,876	3,467,705	事務局の運営経費、メイン会場光熱水費
事業費	会場建設費	266,666,965	0	266,666,965	266,666,965	0	会場整備費、花壇整備費、各種施設整備費、維持管理費、仮設物撤去費
	会場運営費	289,585,800	0	289,585,800	281,677,000	7,908,800	会場運営スタッフ費、交通輸送スタッフ費、交通警備費等
	植物調達・監理費	302,527,610	0	302,527,610	293,526,092	9,001,518	植物維持管理費、植物調達費、植物施工費等
	観客誘致・広報宣伝費	94,793,911	0	94,793,911	79,532,710	15,261,201	観客誘致費、広報ツール作成費、媒体活用費等
	行催事費	147,634,580	0	147,634,580	143,578,007	4,056,573	各種行催事費、屋内展示費、営業参加費
	出展費	39,717,100	0	39,717,100	38,458,180	1,258,920	庭園等出展費、コンテスト費、展示費等
	関連会場費	58,000,000	0	58,000,000	53,413,791	4,586,209	まちなかエリア会場、東部エリア会場イベント開催に係る経費
	協働推進費	31,259,250	0	31,259,250	29,471,510	1,787,740	市民協働調整・運営費
合計		1,238,575,797	0	1,238,575,797	1,191,247,131	47,328,666	

※予算額(a) 1,238,575,797円は、当初予算額539,472,000円に令和4年度からの繰越予算額699,103,797円を加えた金額です。

【差引】

収入決算額 1,227,381,214円 - 支出決算額 1,191,247,131円 = 残金 36,134,083円

## 会計監査報告書

第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会  
会長 郡 和子 様

第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会令和5年度（令和5年4月1日～令和5年12月28日）決算収支を監査した結果、正確かつ適正に処理されていることを確認いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

令和6年 1 月 22日

監事 仙台市会計管理者 村上 薫

## 会計監査報告書

第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会  
会長 郡 和子 様

第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会令和5年度（令和5年4月1日～令和5年12月28日）決算収支を監査した結果、正確かつ適正に処理されていることを確認いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

令和6年 / 月 / 5日

監事 公益財団法人都市緑化機構事務局長 辻 淳一

## 令和5年度事業概要

### 1. 総括的事項

次のとおり第40回全国都市緑化仙台フェア「未来の杜せんたい2023 ～Feel green!～」を開催しました。

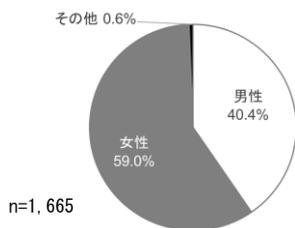
#### ■開催期間

令和5年4月26日～6月18日（54日間）

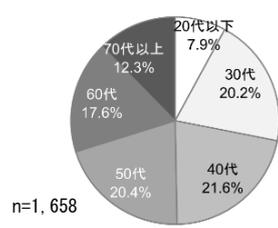
#### ■来場者数

会場	来場者数
メイン会場	610,399人
まちなかエリア会場	288,179人
東部エリア会場	258,067人
合計	1,156,645人

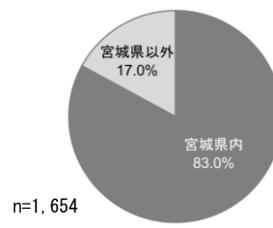
#### ■来場者属性（アンケート調査結果より）



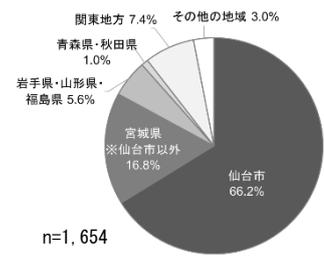
性別



年代



居住地（県内外の割合）



居住地（県内・県外の割合）

#### 【傾向】

- 性別を問わず、幅広い世代からの来場がありました。
- 宮城県外からの来場は17.0%となっており、関東地方7.4%、隣県（岩手県・山形県・福島県）5.6%が多くなっています。
- 宮城県内のうち仙台市外からも16.8%の来場がありました。

#### ■経済波及効果

区分	経済波及効果
直接効果	83.3億円
間接効果	41.9億円
うち、一次波及効果	27.3億円
うち、二次波及効果	14.6億円
合計	125.2億円

## 2. 会場整備、会場運營業務等の実施

### (1) 会場建設

- 花壇や庭園などの整備及び維持管理を行いました。
- 来場者案内所等の会場施設の整備及び誘導サイン等の設置を行いました。
- フェア閉幕後、速やかにメイン会場のフェア関連施設の撤去及び原状復旧に着手し、西公園南側地区は8月末、青葉山公園追廻地区は10月末に完了しました。



### (2) 会場運営

- 各種媒体によるフェアの広報展開等とあわせ、電話対応窓口となる「未来の杜せんだい情報センター」を4月21日から6月20日まで開設しました。
- 仙台市環境局協力のもと、エコステーションを設置し、会場内で発生したごみを分別処理しました。
- メイン会場内における来場者案内や植物の維持管理等の業務はボランティアスタッフの参加により実施し、フェア期間中506名の方に従事いただきました。
- メイン会場内に交通輸送本部を設置し、駐車場や車両入口、タクシー乗降場のスタッフ・警備員への指示の統括を行い、運営の円滑化を図りました。
- 来場者の移動における利便性向上のため、期間中の土日祝日に、メイン会場間の移動と最寄り駅の国際センター駅までを無料で結ぶ連絡タクシーを運行しました。
- 仙台市の観光部局との連携事業により、4月29日から5月7日の毎日と、5月13日から6月18日の期間中の土日にメイン会場と仙台城本丸跡を結ぶシャトルバスを運行しました。



### (3) 植物調達・監理

- 植物バックヤードを確保し、花壇の植え替えや補植の作業日に合わせ計画的に花苗の搬入を行いました。
- フェア期間中、植物を良好な状態に保つために、植物調達協議会にご協力いただき、メイン会場及びまちなかエリア会場内の各エリアの花壇の巡視点検、灌水、花がら摘み、除草、芝刈り等の維持管理を行いました。



### 3. 観客誘致・広報宣伝、各種イベント等の実施

#### (1) 観客誘致・広報宣伝

- フェア会場及び市内外の観光施設等 40 ヲ所をスタンプスポットとして設定したスタンプラリーを実施し、1,187 名の方にご参加いただきました。
- 東部エリア会場や市沿岸部の観光施設等を周遊する 3 コースのバスツアーを計 12 回催行したほか、首都圏・隣県発の旅行商品により、延べ 879 名の参加者がフェア会場を訪れました。
- JR 仙台駅構内に広告を掲出したほか、仙台国際空港、関西国際空港、神戸空港におけるデジタルサイネージ等による広報等を広報宣伝協賛により実施しました。
- 新聞やフリーペーパー等への広告出稿、テレビ・ラジオスポット CM の投下や地元マスメディアによるパブリシティなどを実施しました。
- フェア期間中に実施されるイベント等の情報を掲載した公式ガイドブックや会場案内マップを制作し、フェア各会場及び仙台市所管施設等にて配布・配架しました。
- 作編曲家・鍵盤奏者の秩父英里氏にフェア公式テーマ曲「feel the green」を作曲いただき、テレビ CM 等で使用したほか、インタビュー動画、地元紙やテレビ番組での PR にご協力いただきました。
- 仙台市交通局等との連携により、フェア各会場をお得にまわることができる期間限定の一日乗車券「緑化フェア周遊パス」を販売したほか、目的地までのルート検索からチケット購入をスマートフォンで完結できる「仙台 MaaS」にフェア会場や市中心部の駐車場等を掲載したデジタルマップを実装するなど、会場間の周遊促進を図りました。



## (2) 協賛

- メイン会場内の看板や、ガイドブック等の広報ツールにおける企業ロゴ及び社名の掲出など、仙台フェアにご協賛いただいた企業・団体の皆様を対象とした協賛特典の提供を実施したほか、いただいたご協賛を活用した広報を展開しました。
- 「未来の杜せんだい 2023」開催を記念し、新たな「百年の杜づくり」を次世代へとつなげていくシンボルとしてフォレppiの像を製作することとし、クラウドファンディングを実施しました。

## (3) 公式行事

- 周辺住民や仙台市議会議員、報道関係者を対象とした内覧会を実施し、約 80 名の方にご参加いただきました。
- 市民や報道関係者向けに、フェア開幕を広く周知するウェルカムセレモニーを開催しました。
- フェア実行委員会や施工業者等の関係者への謝意を表す場として、開会式を開催しました。
- フェアの中心的行事として全国都市緑化祭を執り行い、佳子内親王殿下の御臨席を賜りました。記念式典後には、メイン会場青葉山公園園追廻地区にて、記念植樹を行いました。
- 閉会式を開催し、式典後はメイン会場にてクロージングステージを実施しました。また、仙臺緑彩館前にてボランティアスタッフ等による来場者のお見送りを行いました。

行事	実施日	会場
内覧会	4月20日	メイン会場（青葉山公園園追廻地区）
ウェルカムセレモニー	4月26日	メイン会場（青葉山公園園追廻地区）
開会式	4月26日	仙台国際センター 会議棟
全国都市緑化祭	5月24日	仙台国際センター 展示棟
閉会式	6月18日	トークネットホール仙台



#### (4) 行催事

- 青葉山公園追廻地区では、フラワーカーペット制作体験や熱気球体験のほか、東北のまつりステージや著名人等によるステージイベントを実施しました。
- 4月29日から5月7日までの期間を、市民の緑に関する活動を重点的に紹介する期間「GREEN WEEK」と位置付け、仙台市認定緑の活動団体をはじめとした団体などの活動紹介や作品展示、ワークショップを青葉山公園追廻地区で実施しました。
- 仙臺緑彩館では、花やみどりに関連した市民活動団体等の作品を週替わりで展示したほか、「杜の都」の成り立ちや青葉山の歴史、東日本大震災からの復旧・復興等を発信するパネル展示や花みどりに関する多彩なワークショップを実施しました。
- 西公園南側地区で「自然・公園・家族・環境」をキーワードとして、市民団体の参画のもと、自然遊びや広瀬川の生き物観察など子どもたちの「やりたい！」が生まれるプログラムを実施しました。
- 西公園南側地区では、園内の保存樹林を活用したフォレストアドベンチャーを運営したほか、樹木を登るアクティビティのツリークライミング体験会を実施しました。
- 仙台フェア唯一の夜間イベントである「未来の杜せんだいナイトパーク」を期間限定で開催しました。
- 「都市公園制度制定150周年」「杜の都の環境をつくる条例制定50周年」を記念し、シンポジウム「未来につなぐ新しい杜の都の姿」を開催しました。
- フェア最終日となる6月18日に青葉山公園追廻地区において「仙台すずめ踊り総流し」を実施しました。総勢160名を超える踊り手・お囃子がプロムナードを練り歩き、54日間にわたり開催したフェアのフィナーレを飾りました。



## (5) 営業参加

- メイン会場（青葉山公園追廻地区、西公園南側地区）及びまちなかエリア会場（定禅寺通晩翠通交差点）において仮設テントやキッチンカーにより来場者へ飲食を提供しました。また、青葉山公園追廻地区には常設のキッチンコンテナ「フードスタンドセンダイ」を出店し、地元の食材やエディブルフラワーを使用したメニュー等を提供しました。
- 青葉山公園追廻地区「杜のリビングガーデンゾーン」の販売スペースにおいて、地元造園事業者2社が通期で花緑販売を行ったほか、「アーバンフォレスト」仮設テントでは花苗等のほか手づくりの雑貨やインテリア商品などを販売しました。
- 青葉山公園追廻地区「芝生のイベント広場」では、フェア期間中の土日祝日を中心に自治体 PR ブース・協賛ブースを設け、各出展者による PR や物販などが行われました。また、公式グッズブースや仙臺緑彩館内においてフォレప్పいぬいぐるみキーホルダー、プリントクッキーなどの公式グッズを販売しました。
- フェア期間中通期で「春の植木市」が開催されました。

## (6) 関連会場

### 【まちなかエリア会場】

- 定禅寺通緑地において、5月3日から5月7日の5日間、仙台フェア会期序盤を飾るイベント「JOZENJI Feel green Fair」を実施しました。
- 6月10日・11日、コーヒーや焼き菓子、雑貨等を販売する人気イベント「SENDAI COFFEE FES」を当該イベント主催者との連携のもと開催しました。
- 「まちなかエリアイベント開催支援制度」の補助対象7団体により寄せ植えやフラワーアレンジメント体験などのイベントが開催され、フェア期間における市中心部の賑わいを創出しました。

イベント名	補助対象団体名	会場
本町フラワーフェスティバル	本町商店街振興組合	本町商店街周辺
花とコーヒーとペット	肴町公園周辺エリア まちづくり協議会	肴町公園
仙台 榴岡公園 サンクスグリーンフェア	仙台駅東まちづくり協議会	榴岡公園
定禅寺通ナイトガーデン	定禅寺通街づくり協議会	定禅寺通緑地
～青葉通り～花とアートで彩るストリート	一般社団法人まちくる仙台	サンモール一番町商店街
青葉通「秘密の庭」	青葉通まちづくり協議会	青葉通地下道及び周辺
華杜 Avenue	Anego	定禅寺通緑地



## 【東部エリア会場】

- 「せんだい農業園芸センター みどりの杜」にて、「農業とみどりによる沿岸部の再生、自然と調和した新たな生活の実現を目指して！」をテーマに、花みどりに関するイベントや震災復興をテーマとしたパネル展示を実施したほか、会場内の修景を行いました。
- 「せんだい 3.11 メモリアル交流館」では、東日本大震災で大きな被害を受けた東部沿岸部のみどりの再生をテーマとした企画展やイベントを実施したほか、「震災遺構 荒浜小学校」では、フェア期間中、東部エリア会場等を周遊するバスツアーの立ち寄り先とし、復旧・復興のあゆみを発信しました。
- 「海岸公園」では、指定管理者との連携のもと、地域の特性を活かした自然観察イベントや震災からの復旧・復興に関するパネル展示を実施しました。
- フェア開幕直前に一部供用開始となった「高砂中央公園」を「うみともしセントラルパーク」と呼称し、家族連れで楽しみ学べる場として様々な体験型イベントや、学生の企画により屋内空間の新たな利活用等について発信するイベントを開催しました。



## 【連携会場】

- 仙台フェアの開催意義や基本理念に賛同いただいた花やみどり等に関連する施設を「連携会場」として位置付け、各会場内に仙台フェアの看板・のぼり等の統一的な広報ツールやプランターを設置し、開催機運の醸成を図ったほか、フェア期間中において一体的にイベントを開催しました。

名称	フェア期間中来場者数
東北大学 学術資源研究公開センター 植物園	1,595 名
七北田公園	12,974 名
仙台市野草園	7,536 名
八木山動物公園フジサキの杜	99,093 名

## (7) 屋外出展等

- 企業・団体等庭園出展「せんだい Feel Garden」では、「Feel green, Feel flower, Feel future～みどりと花の生命力を感じて、未来へとつなぐ庭のチカラを感じて～」をテーマに、造園関係の企業や団体等が伝統的な匠の技や多彩なアイデアが光る庭園作品が出展されました。なお、出展された全 49 作品を対象としたコンテストも行われました。
- 自治体花壇出展「Trip Garden」では、来場者が全国各地の花やみどりの美しさ、素晴らしさを感じながら日本の花風景を小旅行している気分を巡ることができる 19 の花壇が出展されました。
- 学校等庭園出展「せんだい Future Garden」では、宮城県内の農業系高等学校等の生徒や学生が、日頃学んでいる農業や造園の知識を活かし、地元造園団体等の協力のもと作庭した庭園や花壇が出展されました。
- 日頃より花やみどりに親しむ市民が制作したハンギングバスケット 49 作品及びコンテナガーデン 46 作品を対象にコンテストを実施しました。また、出展作品は好評により、ハンギングバスケット国土交通大臣賞受賞作品とコンテナガーデン金賞受賞作品等について期間を延長して展示しました。

審査対象	実行委員会表彰	関連表彰
せんだい Feel Garden 49 作品	金賞 7、銀賞 19、銅賞 23	7
ハンギングバスケット 49 作品	金賞 7、銀賞 19、銅賞 23	7
コンテナガーデン 46 作品	金賞 7、銀賞 18、銅賞 21	7



## (8) 協働推進

- ▶ 仙台フェア開催に向けて、準備段階から会場づくりなどを市民協働で取り組むことにより、開幕に向けた気運を醸成すること等を目的とし、令和5年4月1日に青葉山公園追廻地区の大花壇にて「みんなで作る大花壇（春植え）」を実施しました。
- ▶ 花壇づくりを行っている地域団体や企業等に対し、花苗やフェアのロゴマークを記したプレート、フラワーラベルを提供し、仙台フェアの全市的な盛り上げを図る取組み「おもてなしフラワーリング」を実施し、フェア開催の気運醸成を図りました。

地域団体	51 団体
企業	15 社 18 カ所
郵便局	市内 125 及び日本郵便株式会社東北支社

- ▶ フェア閉幕後、市民、花緑に関連する活動団体、学校、市民利用施設等を対象に、メイン会場で使用した花苗の譲渡会「はなばた飾りをまちへ！」を開催しました。譲渡会には約1,200名の方が参加し、大花壇や周辺の花壇の中から希望する花苗を掘り取り持ち帰りました。

